

## 令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県央会場

#### 科目 ③子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ

- ◆ 今回受講して、児童数の減少と小学校の統合により、送迎が必要になるケースなど様々な課題があると感じた。余剰教室の使用や一体型など工夫が多く参考になった。発達支援では、お子さんに対してどのように一緒に遊び、保護者の不安軽減につなげていく必要があるか考えることができた。子ども一人ひとりの課題とニーズが違う中で、満足度と保護者からの信頼・安心を得られるような支援員を今後も目指して行きたい。
- ◆ 子ども・子育て支援新制度における放課後児童健全育成事業の概要を学ぶ機会となった。様々な角度からの支援事業があることの知識を得ることができた。その経費は、国や県、市町村がそれぞれ負担し、支援を行っていることも深く知ることができた。親が安心して子どもを預けることができ、子どもたちも安全に過ごすことができる場所として、放課後児童クラブがあり、その組織の一員として携わっているという重要なポジションであることを再認識した。
- ◆ 子ども・子育て支援法とは、一人ひとりの子どもがすこやかに成長することができる社会を実現するために、子どもや子どもを養育している人に必要な支援や給付を行うものだと学んだ。また、家庭や学校、地域、職域などあらゆる分野の全ての人が相互的に協力して支援を行わなければならないということも学んだ。
- ◆ 放課後児童クラブの運営に関連する事業がこんなにもあるとは知らなかった。たくさんの事業により、子どもたちが支えられていることが分かった。保育園利用児童が就学してから利用できる施設が少なくなることは、保護者の方にとって大変なことだと思われる。施設の数もさることながら、学童で過ごす時間の内容等も、この事業を受けて充実させていかなければいけないと感じた。
- ◆ 本科目を通じて、近年の子どもや子育て環境などを取り巻く環境に対する制度や施策について学んだ。子ども・子育て支援新制度における放課後児童クラブの運営に関する事業が我が国の子どもや子育てに関する課題の解決に多方面から取り組まれていることを学んだ。また、児童厚生施設の児童館の種別、機能や特徴を新たに認識することができた。本科目で学んだことを活かして子どもたちの成長に寄与できるよう努めたい。